

2022年度

科目等履修生

「出願要項」

本学大学院生(入学予定者含む。)用

文学部、教育学部、法学部、理学部、医学部保健学科、工学部



目 次

1. 受入人員	1
2. 出願資格等	1
3. 事前相談について	2
4. 出願期間	3
5. 出願手続	3
6. 検定料の払込方法	4
7. 注意事項	4
8. 選考方法	5
9. 合格発表	5
10. 入学手続	5
11. その他	5
○履修できない授業科目(2022年度)	7

【個人情報の取扱いについて】

熊本大学では、出願手続の際にお知らせいただきました住所・氏名等の個人情報は、入学者選考・合格通知・入学手続等を行うために利用いたします。
お預かりした個人情報は、責任を持って管理し、目的以外の用途には使用しません。

◎ 科目等履修生の受入について

本学の教育（授業）に支障のない場合に限り、選考の上、入学を許可する制度です。

科目等履修生：本学の学部や大学院において開講している授業科目を履修する制度です。一般の学生（正規）と同様に、試験等を受けて一定以上の成績を修めた場合は、その科目の単位を修得することができます。

1. 受入人員

若干名（本学の教育(授業)に支障のない人数）

2. 出願資格等

I. 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者とする。（長期履修制度の適用を受ける者を除く。）

- ① 本学大学院在学中の者（休学中・停学中・留学中*1等の者を除く。）
- ② 本学大学院入学予定の者

*1 国内外を問わず、熊本大学大学院学則(平成16年4月1日制定)第30条第2項の規定に基づいた「熊本大学大学院における他の大学院等で研究指導を受ける学生の取扱いに関する規則」により他大学で研究を行っている者

II. 授業関係

1. 下記研究科・教育部については、科目等履修生の履修科目数等に制限があります。

これは、大学院生(正規生)としての修学に支障をきたすことを防止する目的で設けています。

所属部局	課程	履修科目数及び単位数の制限
教育学研究科	教職大学院の課程	1年間に16単位まで
社会文化科学教育部	博士前期課程	1年間に4科目8単位まで（文化学専攻文化行政・学芸員専門職コース在籍者のみ学芸員資格関連科目に限り8科目14単位まで）
自然科学教育部	博士前期課程	1年間に4科目8単位まで

2. 許可された授業科目を履修することができます。授業科目の詳細については、本学のホームページにシラバスを掲載しておりますので、こちらをご参照ください。

（トップページ>教育>教育サポート・サービス）http://www.kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/kyouiku_support

なお、2022年度の「シラバス」は、同年4月頃に参照可能となりますので、4月入学の方は直接、学部の教務担当（P.6連絡先等）へお尋ねください。

3. 履修した授業科目について試験を受け、単位を修得することができます。

ただし、履修できない授業科目があります。（P.7履修できない授業科目）

*1 博物館実習について（P.7）

「博物館実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」については、履修者数に制限がありますので、必ず履修できるとは限りません。学芸員養成課程の学部学生の履修状況により、履修の可否を判断します。

また、博物館実習Ⅲについては、実習開始までに博物館に関する科目（必修科目）及び選択必修科目（任意設定科目）を全て修得していることを条件としますので、学芸員用の単位修得証明書を必ず担当教員へ提示してください。

*2 教育学部における専門教育の履修限度（P.7）

科目等履修生が当該年度に履修することができる専門教育の単位数の総計は、次に定める限度を超えないものとします。

- (1) 高校卒業者及びこれに準ずる者 4単位
 - (2) 短大卒業者及びこれに準ずる者 6単位
 - (3) 大学卒業者及びこれに準ずる者 8単位
- （本学教育学研究科に在籍する者 16単位）

ただし、本学大学院に在学中の者で、教育実習及び教職実践演習の授業科目を履修することができる者は、教育実習及び教職実践演習の授業科目を履修しようとする年度において、教育実習及び教職実践演習を含む教育職員免許状の取得に必要な教科に関する科目、教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目の未修

得単位が**8単位以下**であるもので、当該年度に免許取得に必要な科目のすべての単位を修得可能なものとします。なお、このただし書は、教育学研究科の教職大学院の課程に在籍する者には適用しない。

教職実践演習の履修を希望する場合は、**出願前までに必ず**、教育学部教務担当（P.6 連絡先等）へご相談ください。

教育学部「被服構成実習」については、準備の都合上、受入の人数制限がありますので、事前に必ずご相談ください。

4. 教育職員免許状の取得に必要な教職に関する科目を履修希望の場合は、教育学部開講の授業科目を履修してください。（独語・仏語・情報の指導法は除く。）
5. 博物館法施行規則の改正に伴い、平成24年4月1日より学芸員の資格取得に関する科目が変更になったため、科目等履修生の場合、新規則に対応した科目・単位の修得が必要です。新規則に対応した科目の開講については、文学部教務担当（P.6 連絡先等）へお尋ねください。

Ⅲ. 在学期間

原則として当該年度に限ります。ただし、願い出により延長を認めることがあります。（P.5 在学期間の延長等）

3. 事前相談について

(1) 身体に障がい等のある入学志願者の事前相談について

身体に障がい等のある入学志願者は、本学において修学上の配慮を必要とする場合がありますので、出願に当たっては次により、事前に学生支援部教育支援課教育支援チーム教務支援担当まで相談してください。

・相談の時期

前学期（4月）入学 **2021年12月24日（金）**まで

後学期（10月）入学 **2022年 4月28日（木）**まで

区 分	対象となる者
〔ア〕 視覚障がい	・点字による教育を受けている者 ・視力が高い方の目の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障がい者
〔イ〕 聴覚障がい	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障がい者
〔ウ〕 肢体不自由	・体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障がい著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
〔エ〕 病弱	・慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
〔オ〕 発達障がい	・自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため修学上の配慮を必要とする者
〔カ〕 その他	・〔ア〕～〔オ〕の区分以外の者で修学上の配慮を必要とする者

(2) 連絡先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学 学生支援部教育支援課 教育支援チーム 教務支援担当

TEL : 096-342-2719 E-mail : gak-senmon@jimu.kumamoto-u.ac.jp

4. 出願期間

前学期（4月）入学 2022年2月14日（月）～ 2月16日（水）（必着）

後学期（10月）入学 2022年6月20日（月）～ 6月22日（水）（必着）

※下記により入学予定の場合は、上記期間に関わらず、次の期間までに出願手続きを完了してください。

- ・自然科学教育部 博士前期課程(学部3年次を対象とする入試)、博士後期課程(第3次募集)

前学期(4月)入学 2022年3月7日(月) (必着)

- ・自然科学教育部 博士前期・後期課程(10月入学)

後学期(10月)入学 2022年9月6日(火) (必着)

5. 出願手続

- ・郵送する場合は、封筒の表面に「科目等履修生入学志願書在中」と朱書き、「書留速達」としてください。
- ・持参する際の受付時間は、9時から17時までです。

〔提出先〕〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学 学生支援部教育支援課 教育支援チーム 教務支援担当 TEL：096-342-2719

提出書類等	提出該当者	摘 要
入学志願書	全 員	所定用紙 出願前に授業担当教員による <u>面接を受け、面接欄に承認印をもらってください。</u> 写真は縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向きで出願3か月以内に撮影したものを貼ってください。
卒業・修了（見込）証明書 成績証明書	全 員	最終学校のもの（大学を卒業した者は、 <u>卒業大学とそれ以降の全ての証明書</u> について提出）
検定料（検定料受付証明書貼付台紙）	全 員	9,800円 専用の払込用紙を使って、銀行の窓口で払い込んでください。 払込後、「検定料受付証明書（「大学提出用）」を「検定料受付証明書貼付台紙」に貼ってください。
住所票	全 員	所定用紙：合格通知書の送付先(日本国内)を記入してください。
在学証明書	該当者	既に大学院に在籍している者は、本学大学院の在学証明書を提出してください。
合格通知書の写し	該当者	大学院入学予定者は、大学院入学試験合格通知の写しを提出してください。
戸籍抄本	該当者	証明書の氏名が旧姓で記載されている者
住民票の写し	外国人志願者	市区町村長が発行したもの
日本語又は英語の語学力を証明する書類	外国人志願者	日本語能力認定書(日本語能力試験)、日本留学試験成績通知書、TOEFL®official Score Report、CET等

●提出にあたっての注意点等

①提出書類については、全て原本を提出してください。

また、提出書類のうち証明書等について、原本が1部しか発行されず、提出後に返却を要する場合は、そのことを記載した書類（書式は自由）を一緒に提出してください。

②各書類とも日本語以外で表記されている場合には、日本語の翻訳文を添付してください。

*授業担当教員への連絡方法が不明な場合は、履修希望の科目開講の学部等の教務担当（P.6連絡先等）へお尋ねください。

6. 検定料の払込方法

(1) 検定料 9,800 円

(2) 払込期間

前学期（4月入学） 2022年2月1日（火）～ 2月16日（水）

後学期（10月入学） 2022年6月1日（水）～ 6月22日（水）

※下記の場合は、上記期間に関わらず次の期間に払込を行ってください。

- ・自然科学教育部 博士前期課程(学部3年次を対象とする入試)、博士後期課程(第3次募集)
前学期(4月入学) 2022年3月7日(月)まで
- ・自然科学教育部 博士前期・後期課程(10月入学)
後学期(10月入学) 2022年9月6日(火)まで

(3) 払込場所

銀行の窓口（ゆうちょ銀行及びATM（現金自動預払機）は使用不可）

振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(4) 払込方法

- ① 検定料払込用紙に必要事項を記入して、必ず銀行の窓口（ゆうちょ銀行及びATM（現金自動預払機）は使用不可）で払い込んでください。
- ② 払込後、受付で受領した「検定料受付証明書」を「検定料受付証明書貼付台紙」に確実に貼り付けて提出してください。

(5) 出願に際しての留意事項

- ① 検定料が払い込まれていない場合又は払込済の「検定料受付証明書」が「検定料受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けていない場合は、出願を受理しません。
- ② 払込済の検定料は、次の場合を除いて、いかなる理由があっても返還しません。
(ア) 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合
(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印）、志望学部、郵便番号、現住所、連絡電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入すること。）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求書（様式は問わない。）を作成し、必ず「検定料受付証明書（台紙貼り付け用）」を添付して速やかに下記あて郵送してください。

送付先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

熊本大学財務部財務課収入・支出チーム収入担当

問合せ先 （電話）096-342-3176

(注)なお、返還請求の受付は前学期（4月入学）は2022年3月31日（木）、後学期（10月入学）は2022年9月30日（金）までとし、受付日の翌月以降に返還する予定です。また、返還請求書の到着確認を行いたい場合は、書留や特定記録郵便等で発送の上、郵便追跡サービスをご利用ください。返還にかかる振込手数料は志願者の負担となります。

7. 注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理できないことがあります。
- (2) 出願書類を受理した後は、書類の返却はできません。

- (3) 入学後、提出書類及び記載事項に虚偽が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 入学予定者で大学院に入学しなかった場合は、科目等履修生の入学を取り消します。
- (5) 在学中に休学、停学、留学となった場合、または長期履修制度の適用を受けた場合は、科目等履修生の入学を取り消します。（後学期から上記により変更があった場合は、履修を許可された後学期科目を取り消します。）

8. 選考方法

書類選考 ※必要に応じて面接を行います。

9. 合格発表

合格者には、「合格通知書」等を送付します。

ただし、入学予定者については、大学院の入学手続完了が合格の条件となります。

前学期（4月）入学者は3月下旬、後学期（10月）入学者は8月中旬（大学院入学予定者は9月下旬）頃
なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

10. 入学手続

入学手続の期間及び方法等、手続の詳細については、合格通知書送付の際に同封してお知らせします。

(1) 入学手続期間

前学期（4月）入学：3月下旬頃

後学期（10月）入学：9月中旬（大学院入学予定者は9月下旬）頃

(2) 提出書類等

① 誓約書 ② 保証書 ③ カラー顔写真（縦4cm×横3cm）…等

(3) 必要経費

本学大学院に在学する学生（入学予定者を含む。）が科目等履修生として入学する場合、科目等履修生に係る入学料・授業料の納入は不要です。（出願時の検定料の納入は必要です。）

(4) 入学手続時の注意事項

① 入学手続期間中に入学手続をしなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

② 履修科目の開講学期当初の月（4月又は10月）の初日以降に履修する授業科目の変更や取消しはできません。（教育学部は、「入学志願書」提出後の授業科目の変更や取消しは受け付けません。）

11. その他

(1) 科目等履修生として、複数学部の授業科目の履修を希望する場合は、必ず、出願前に学生支援部教育支援課教育支援チーム教務支援担当へ申し出てください。

(2) 資格取得を目的とする場合、必ずご自身で履修すべき科目等を確認した上で出願を行ってください。

※ 教育職員免許状の取得を目的として履修を希望する場合、教員免許状の授与権者は各都道府県教育委員会です。ので、出身大学が発行した「学力に関する証明書」により、各都道府県の教育委員会において、教育職員免許状に必要な科目及び単位数を必ず確認してください。その上で、本学で履修できる授業科目を確認し、科目等履修生として出願してください。

(3) その他不明な点があれば、学生支援部教育支援課教育支援チーム教務支援担当へ問い合わせてください。

(TEL：096-342-2719 E-mail:gak-senmon@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

(4) 在学期間の延長等

科目等履修生として引き続き履修を希望する場合

在籍期間を空けずに、引き続き科目等履修生として在学期間の延長を願い出る場合は、所定の手続きを経て、審査の結果、延長が認められる場合があります。（延長が認められた場合、検定料及び入学料の納入は不要です。）

【連絡先等】

学部	担当部署	連絡先
文学部	人社・教育系事務課 文学部教務担当	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 TEL : 096-342-2317 E-mail : jsj-bungaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
教育学部	人社・教育系事務課 教育学部教務担当	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 TEL : 096-342-2522 E-mail : kyo-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
法学部	人社・教育系事務課 法学部教務担当	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 TEL : 096-342-2318 E-mail : jsj-hogaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
理学部	自然科学系事務課 理学部教務担当	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号 TEL : 096-342-3321 E-mail : szr-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
工学部	自然科学系事務課 工学部教務担当	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号 TEL : 096-342-3522 E-mail : szk-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
医学部保健学科	医薬保健学系事務課 保健学事務チーム教務担当	〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号 TEL : 096-373-5571 E-mail : skh-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

履修できない授業科目（2022年度）

※ 履修できない授業科目一覧に記載されていない場合でも、次の3点については履修できません。

1. 科目等履修生に馴染まない科目(例 卒業論文・研究、ゼミナール、インターンシップ等)
2. 不開講科目
3. 新課程カリキュラムで、学年進行途中のため開講予定年次まで達していない科目

学 部	授業科目名	担当教員名
文 学 部	心理学基礎実験	各 教 員
	心理学総合実験	
	心理学研究法 I	
	(*1) 博物館実習 I・II・III	
	文章作成演習	
	インターンシップ	
	キャリア支援	
	キャリアデザイン実習A・B	
	英語コミュニケーション	
	異文化コミュニケーション論実習	
教育学部	基礎物理学A、基礎物理学B、基礎物理学演習、物理学実験	各 教 員
	基礎化学A、基礎化学B、基礎化学演習、化学実験	
	基礎生物学A、基礎生物学B、基礎生物学演習、生物学実験	
	基礎地学A、基礎地学B、基礎地学演習、地学実験、地学Ⅰ、地学Ⅱ、地学基礎研究	
	演習及び実技（音楽）に関する科目	
	調理実習Ⅰ・Ⅱ、調理学演習、食物学実験	
	(*2) 被服構成実習	
	被服科学実験	
	知的障害児指導法Ⅰ・Ⅱ	
	心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公認心理士の職責、臨床心理学概論、学習・言語心理学、感情・人格心理学、発達心理学、障害者・障害児心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、健康・医療心理学、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、人体の構造と機能及び疾病、精神疾患とその治療、関係行政論、心理演習、心理実習、心理統計法、心理学研究法	
	(生理学・看護学・臨床) 実習	
	公衆衛生学実習	
	体育実技Ⅳ	
	(*2) 教育実習	
	(*2) 教職実践演習	
	教職実践基礎セミナー	
	法 学 部	
特論科目		
外書講読		
インターンシップ		
海外インターンシップ		
倫理学概論		
哲学概論		
職業選択と自己実現		
職業選択の実践		
特殊講義ⅠA（法律実務の諸相）		
特殊講義ⅡA（紛争処理と法律家の役割）		
特殊講義ⅡA（地域公共プロジェクト）		
特殊講義ⅡA（模擬裁判～教科書から法廷へ～）		
ジャーナリズムの現場から		
理 学 部		理系実用英語Ⅰ・Ⅱ
	理学概論	
	数学演習A・B・C・D	
	物理学共通実験、化学共通実験、地学共通実験、生物学共通実験	
	物理実験A・B	
	化学実験A・B・C・D	
	生物学実験A・B・C・D	
基礎講読Ⅰ・Ⅱ		
医学部保健学科	保健師・助産師選択科目	各 教 員
	実験、実習、演習に関する科目	

注意1. (*1)の授業科目については、1ページⅡ-3 「*1 博物館実習について」の記載を参照してください。

注意2. (*2)の授業科目については、1ページⅡ-3 「*2 教育学部における専門教育の履修限度」の記載を参照してください。

注意3. 教養教育科目については、条件付きで履修を認める場合もあるので、事前にお問い合わせください。